

えがお
愛顔の

とくべつし えんがっこうぎのうけんてい
えひめ特別支援学校技能検定

テキスト

せい そう
清 掃

み ず ぶ
ー水拭きモップー



愛媛県イメージアップキャラクター

みきやん

え ひ め け ん き ょ う い く い い ん か い
愛媛県教育委員会

R7年度（12訂版）

みず ぶ てじゅんひょう 【水拭きモップ】 手順表

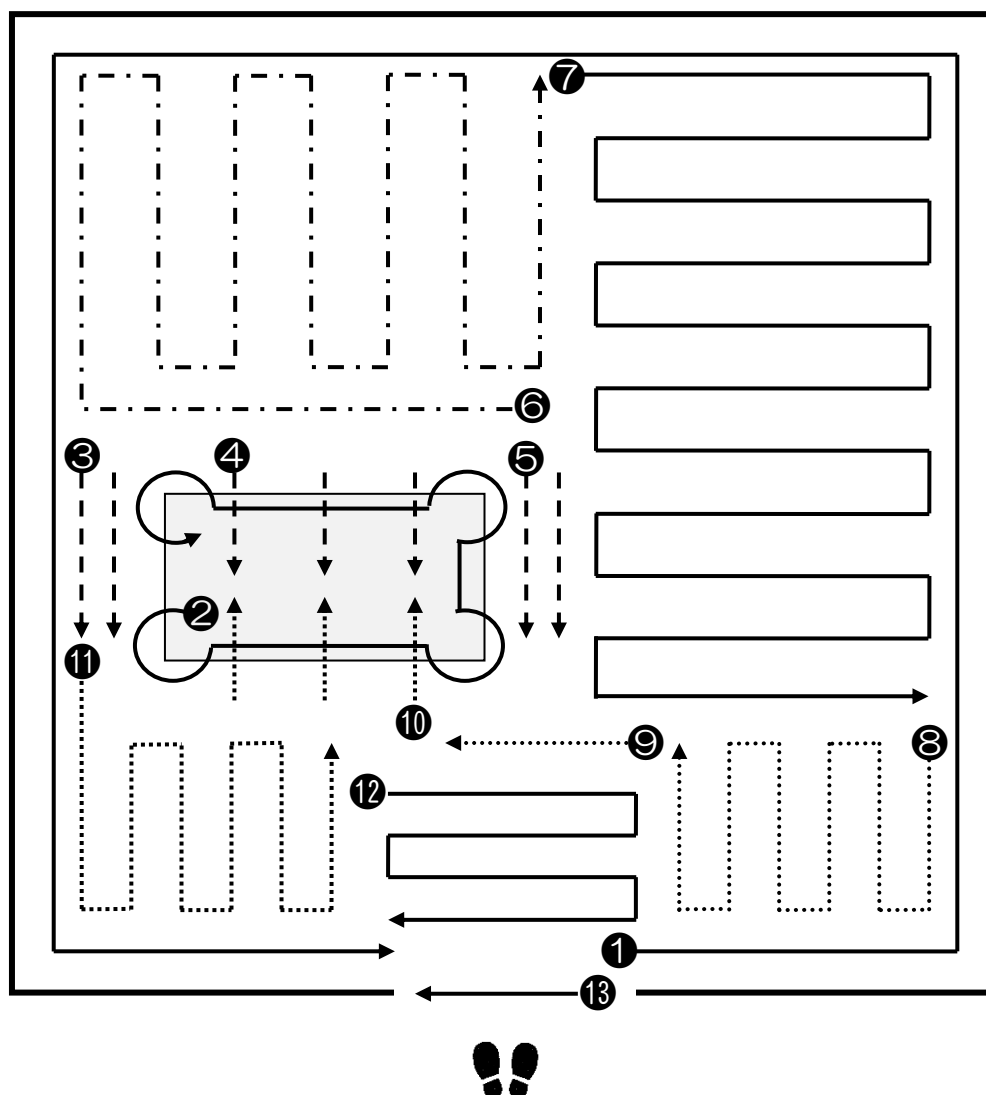
せいげんじかん ぶん
制限時間 6分

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうないよう 作業内容	しゃしん とう 写真・イラスト等
1 身だしなみ	① 清掃にふさわしい服装をする。 ② 清潔に気を付ける。	
2 道具準備 モップの 準備	① 審査員「0番△△さん スタート位置にお立ちください。」返事をして、スタート位置に立つ。 ② 審査員「準備を始めてください。」準備を始める。 ③ 道具を確認し、足りないものがあれば報告する。 □作業表示板 □房系 1 枚 □モップ柄 □バケツ ④ 房系をぬらす。 ⑤ 房系を絞る。 ⑥ ※房系を等分にし、片手で横木を持ち、反対の手でねじって絞る。 ⑦ (必要があれば) 柄の長さを調節する。 ⑧ 房系を柄に取り付ける。 ⑨ 「準備ができました。」と報告する。	  
3 作業開始 入室挨拶	① 審査員「では、作業を始めてください。」手を挙げ「始めます。」と言う。 ② 作業表示板を立てる。 ③ モップを手に取り、入口で「失礼します。」と一礼して室内に入る。	
4 水拭き 作業	① ①幅木内周を反時計回りに拭く。 ② 拭き始めと部屋の隅は、房系を指で押さえて、壁に房系が触れないように拭く。 ③ 図の手順に従って順番に拭いていく。 ④ 机の脚回り ⑤ ③～⑤ 机の下・机の周囲 ⑥ ⑥～⑫ 部屋の中央 ⑦ ⑬ 出入口	    

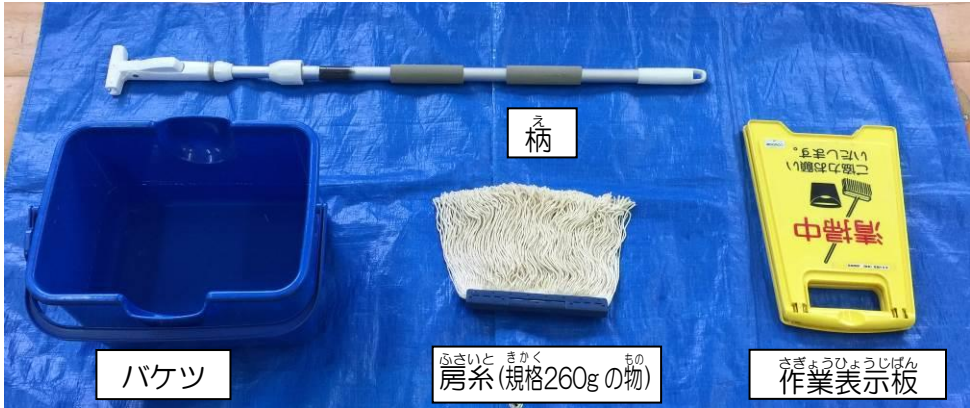
5	点検 てんけん	① 出口で、拭き残しがないことを確認する。 でぐち ふ のこ かくにん	
6	退室 あいさつ 挨拶 かたづ 片付け	① 出口で、室内に向かって、「失礼しました。」と一礼し退室する。 でぐち しつない む しつれい	
		② 房糸と柄を資機材置場ではずし、戻す。 ふさいと え し きざいおきば もど	
		③ 作業表示板を資機材置場に戻す。 さぎょうひょうじばん し きざいおきば もど	
7	作業終了 さぎょうしゅうりょう	① スタート位置に立ち、手を挙げ「終わりました。」と報告する。 い ち た て あ お スタート位置に立ち、手を挙げ「終わりました。」と報告する。 ほうこく	
		② 審査員に「ありがとうございました。」と挨拶する。 しんさいん あいさつ 審査員に「ありがとうございました。」と挨拶する。	

《作業図：水拭きモップ作業の手順》

※番号は進む方向の順番を表します。モップを動かす回数は適宜変えてかまいません。



みず ぶ 【水拭きモップ】 かいせつ 解説

1	※【清掃の基本】解説 ①身だしなみを参照
2 道具準備 どうぐじゅんび	※【清掃の基本】解説 ②道具準備を参照  バケツ 柄 房糸 (規格260gの物) さぎょうひょうしばん 作業表示板 ふさいと しぼ かた 房糸の絞り方  ①房糸を等分に分けます。  ②片手で房糸を掴み、もう片方の手で留め具を掴みます。  ③両手を内側にねじり、縦絞りのやり方で水気を切ります。  ④しっかり絞ったら、左右を逆に持ち替えます。  ⑤①～③を繰り返します。水滴が落ちなくなるくらいまで絞ります。  ⑥房糸をまっすぐに整えます。

2 道具準備	ふさいと と っ 房系の取り付け ひつよう おう え なが ちょうせつ た 必要に応じて柄の長さを調節します。まっすぐ立て え の め はな たか あ 柄を伸ばし、目から鼻くらいの高さに合わせましょう。 あんぜん さぎょう え 安全に作業をするために、柄を かた ゆか お ふさいと 肩にかつぐか、床に置いて、房系を しっかりセットします。 この時、柄が当たらないよう、周り ちゅうい に注意してセットしましょう。
3 作業開始	※【清掃の基本】解説 ③作業開始、④入退室挨拶を参照 せいそう きほん かいせつ さぎょうかいし にゅうたいしつあいさつ さんしょう
4 水拭き作業	も かた モップの持ち方 みぎ て うえ おやゆび え せんたん お ひだり て じゅんて 右手が上に、親指で柄の先端を押さえ、左手は順手 で柄を握ります。 かへぎわ ふ からだ よこ ちゅうおう ふ とき 壁際を拭く時は体の横に、中央部分を拭く時は からだ まえ え 体の前にモップの柄がくるように持ちます。 みず ぶ あと くつ よこ つ 水拭きした後は、靴の汚れが付かないように、 拭いたところを踏まないようにします。 はばきないしゅう ふ かた 幅木内周の拭き方 はばき ふさいと 幅木に房系が ふ 触れないように します。幅木を はばき 傷つけたり、汚 きず したりしないた めです。 はばき ていとはな 幅木から2～3cm程度離す。 すみ ふさいと 隅は房系に て そ 手を添えて拭 きます。幅木 はばき に房系をつけ ふさいと ないため です。

水拭き作業

つくえ あしまわ した しゅうい
机の脚回り・下・周囲



※手の小さな人は
房糸を分けると
拭きやすい。

つくえ あし ふさいと ふ
机の脚に房糸が触れない
ように拭きます。



し せい
姿勢を
ひく 低く

へ や ちゅうおう
部屋の中央



モップを左右に動か
し、後ろに下がりながら
拭きます。

拭いた部分が少し重
なるように(3分の1程度)
すると、拭き残しなく拭
くことができます。



で いりぐち
出入口



さいご で いりぐち ぶん
最後に出入口部分
を、房糸を手で持って
拭きます。

※横一直線になるように拭く。

※拭き残しができるので、
モップは丸く動かさない。



5
点検

■拭いたところを踏まないようにするため、点検は出口で行います。

6
退室・片付け



モップは壁などに立てかけず、床に寝かせて置
くようにします。立てて置いておくと、ぶつかった
とき倒れて危険ですし、壁を傷つけてしまうことも
あります。

7
終了

■仕事は、時間内に終わることが大切です。効率よく確実に清掃を終える努力を
しましょう。



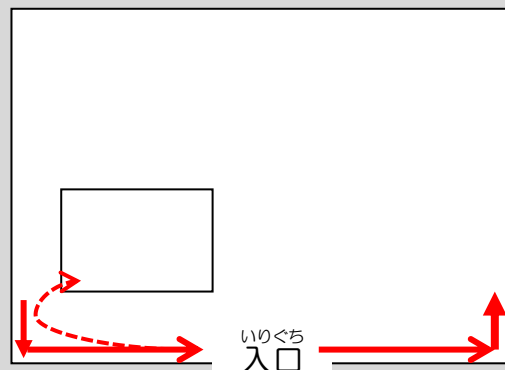
まめらしき
豆知識

1

作業は、できるだけ効率よく短時間で行うことができるよう、工夫
することが大切です。

例えば、本検定では、入口から隅までの長さが1.4mと短くなって
いるため、最初から腰を落として房に手をあてて拭く方が、立ったり
しゃがんだりすることなく、効率よく作業ができます。さらに机の脚の
周りを続けて拭くようにすると、
一連の流れとしてスムーズに作業
を進めることができます。

房に手を添えて拭くときには、
柄が幅木（壁として設定）の上を
越えないように気をつけましょう。



まめらしき
豆知識

2

作業は、安全に気を付けながら行うことが大切です。

作業は、基本的に前に進むように行いますが、モップの水拭き作業
だけは、後ろ向きに下がりながら行います。その時には、後ろに人が
いないことや物がなことを確認してから、作業を進めます。

水拭き作業以外の場面、例えば入口で、後ろ向きに下がりながら部屋
から出ることは、部屋に入ろうとしている人にぶつかる可能性があり、
危険です。挨拶をした後は、体を回転させて前を向いて出るように
しましょう。

みず ぶ ひょうかひょう
【水拭きモップ】 評価表

せいげんじかん ぶん
制限時間 6分

が 月 に 日

		こう 目	ひょうか 評価	びこう 備考
1	①	み ひとの み ひょうかひょう さんしょう □身だしなみを 整 えている。 ※身だしなみ評価表を参照		
2 道具準備 どうぐ じゅんび	①	どうぐ かくにん た ほうちく □道具を確認し、足りないものがあれば報告する。		
	②	ふさいと どうぶん ただ しぼ かた □房系を等分に分け、正しい絞り方をする。		
	③	ふさいと すいてき お しぼ □房系から水滴が落ちないように、しっかり絞る。		
	④	しぼ お ふさいと ととの □絞り終わったら房系をまっすぐに 整 える。		
	⑤	え なが め はなあた たか ちようせつ □柄の長さを目～鼻辺りの高さに調 節 する。		
作業開始 さぎょうかいし	①	てきせつ こえ おお たいど さぎょうかいし つた □適切な声の大きさや態度で作業開始を伝える。		
	②	さぎょうひょうじばん てきせつ い ち お □作業表示板を適切な位置に置く。		
4 水拭き作業 みずぶ さぎょう	持ち方 もちかた	え せんたん おやゆび お □柄の先端を親指で押さえる。		
		いっぽう て じゅんて も □もう一方の手は順手で持つ。		
	拭き方 ふきかた	はば き つくえ あし ふさいと ふ □幅木や 机 の脚に房系をつけないように拭く。		
		つくえ え ふ □机 に柄をぶつけないように拭く。		
		すみ つくえ あしまわ でいりぐち ふさいと て も ふ □隅、机 の脚周り、出入口では、房系を手で持って拭く。		
		ふ ふ ふ さぎょう すす □拭いたあとを踏まないように作業を進める。		
		き じゅんばん さぎょう すす □決められた 順 番で作業を進める。		
		ふ のこ ふ ふ □拭き残し、拭きむらがないように拭く。		
		ときどきうらがえ りようめん しょう □モップを時々裏返し、両 面 を使用する。		
		むり しせい ただ かま さぎょう すす □無理のない姿勢や正しい構えで作業を進める。		
点検 てけん	①	でいりぐち ふ のこ かくにん □出入口で拭き残しがないか確認する。		
片付け かたづけ	①	しょう どうぐ すべ しきざいおきば もど □使用した道具を全て資機材置場に戻す。		
作業全体 さぎょうしゅうたい	①	てきせつ こえ おお たいど あいさつ ほうちく □適切な声の大きさ・態度で挨拶や報告をする。		はつご ばあい ※発語がない場合 て あ など は手を挙げる等 あいず かい 合図する。
	②	こうどう さぎょう すす □きびきびした行動で、スムーズに作業を進める。		
かかった時間 じかん		ぶん びよう 秒	〇の数 かず	

コメント

きゅう
級

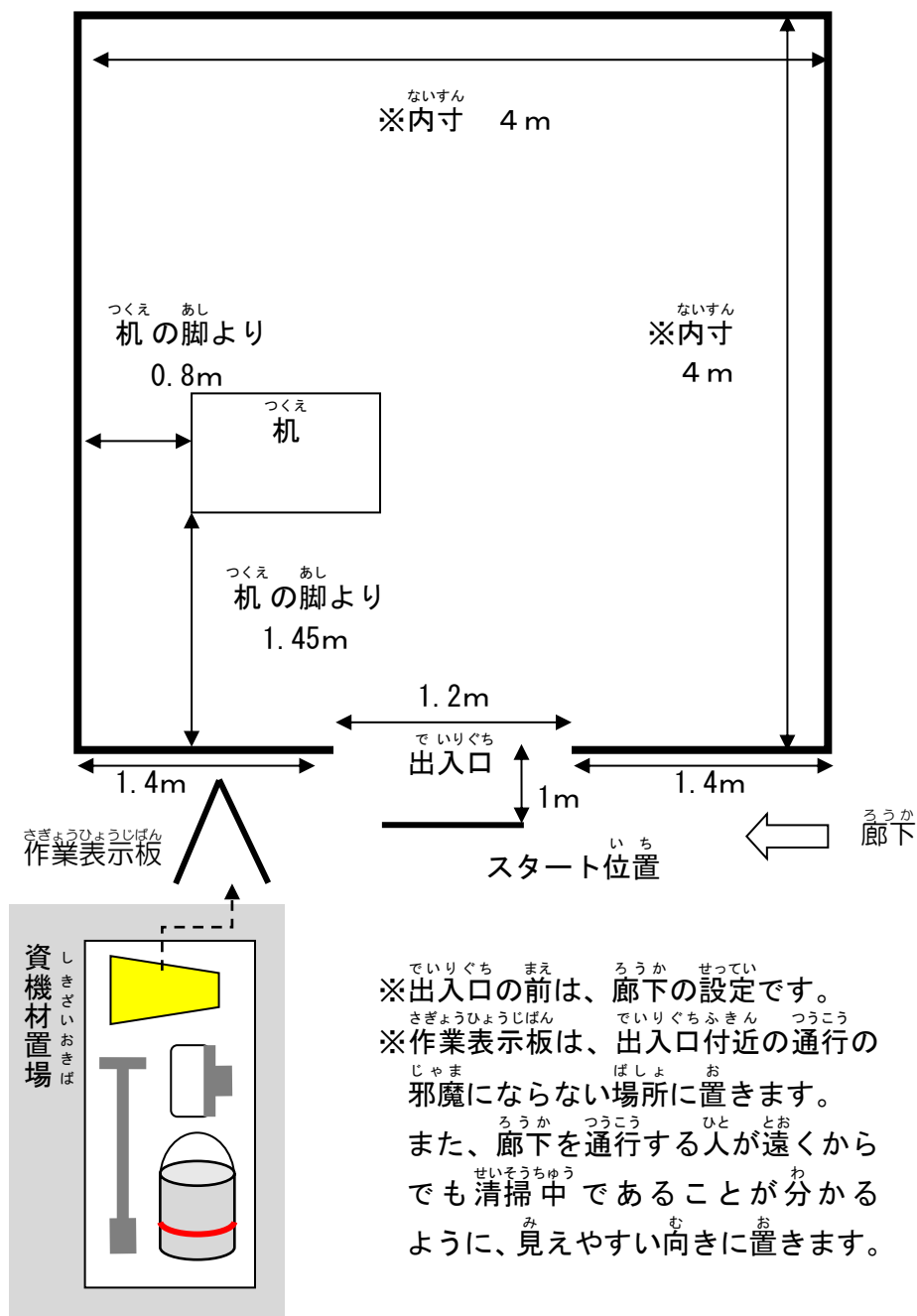
〇の数 かず	1,2	3,4	5,6	7,8	9,10	11,12	13	14	15	16
きゅう 級	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- できていない評価項目に☑を入れます。評価欄の枠内の全ての課題がクリアできれば〇がつきます。
- 制限時間6分を超えた場合は、その時点で検定を中止し、級外とします。

ば せってい みずぶ ≪場の設定≫ 水拭きモップ

- 1 テープ又は幅木により区画されたおよそ $4\text{ m} \times 4\text{ m}$ の範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 試技コートにある机は移動させないこととします。

はいちず かいじょう つごう へんこう
 配置図（会場の都合で変更することがあります。）



↑シート上で準備をします。